



## 森会長によるオリンピック休戦決議に関する国連総会演説(2019年12月9日)

### 【冒頭挨拶】

日本政府提出の「スポーツとオリンピックの理念を通じた平和でより良い世界の構築」国連総会決議案をご紹介します。最初に、この機会を頂きました、グテーレス国連事務総長及び国連関係者の皆様に、感謝申し上げます。

### 【ローマ教皇・グレタさん・休戦決議の意義】

つい2週間前、ローマ教皇フランシスコ台下が、わが国の広島・長崎を訪問され、「核兵器のない世界は可能であり、必要不可欠であると確信する。」と述べられ、日本の多くの人々の心は深く共鳴しました。江戸時代約250年の弾圧に耐えてキリスト教信仰を守った長崎の空にも、1945年に原子爆弾は爆発し、平和の祈りは虚しいと感じていた我々日本人の心に、教皇の言葉は一筋の光として、あるべき未来を照らしたのです。

また、平和への脅威は戦争によるものだけではありません。グレタ・トゥーンベリさんの地球温暖化問題への叫びは、世界を震撼させ、私も深く衝撃を受けた一人であります。私が初めてこの国連総会で演説をしたのは、2000年の国連ミレニアムサミットで、日本の総理大臣として、「人間の安全保障」を日本外交の柱に据え、国連の機能強化を訴えた時でありました。そして、当時のアナン国連事務総長の委任を受け、「人間の安全保障委員会」を設立し、「人間中心のアプローチ」を国際社会に提唱しました。また、2007年の国連気候変動ハイレベル会合においては、「気候変動は、人類全て、特に、貧困に苦しみ脆弱な国に生きる人々にとって、人間の安全保障に深く関わる問題です。」と述べ、途上国支援の重要性を指摘いたしました。更に、私が議長として議論を主導した、2000年7月のG8九州・沖縄サミットでは、感染症問題を初めて主要議題として取り上げ、2001年の国連エイズ特別総会ハイレベルレビュー会議に出席し、現在、国連でご活躍いただいている、アントニオ・グテーレス現国連事務総長とも協議を重ね、世界エイズ保健基金設立に漕ぎ着けました。

それでも現実には厳しく、これまで私なりに全力を尽くしてきたものの、力不足を悔いることばかりです。しかしながら、どれだけ現実が厳しくとも、私は世界の平和と繁栄を諦めたくはありません。そして、そのような人間が私だけではないことを、このオリンピック休戦決議は教えてくれるのです。たとえオリンピックの間だけでも争いのない世界を実現したい、相互理解と尊重の中で「共生」していきたい、という世界中の人々の願いの結晶が、このオリンピック休戦国連総会決議であります。



### 【平和と「人間の安全保障」・緒方貞子さん】

私は国連の場で演説するのは今回で5回目になりますが、常に「人間の安全保障」を胸に、世界の平和と繁栄を祈りつつ壇上に立つ気持ちに変わりはありません。特に今日は、10月に他界された緒方貞子元国連難民高等弁務官が私の背中を押してくれているようです。緒方貞子さんは、東京2020組織委員会の特別顧問でもありました。2001年に私が日本の現職総理として初めてアフリカを訪問した際には、全行程に同行し、ケニアのカクマ難民キャンプでは先頭に立って案内してくれた盟友でありました。その時、官房副長官として私に同行していたのが、現在の安倍晋三総理大臣であります。緒方貞子さんの遺志を継ぎ、世界の平和と繁栄に取り組み続けることは、私たち共通の誓いでもあります。

更に、東京2020大会に向けて協議を重ねる中で、私は、バッハIOC会長の世界平和への深い思いに心打たれました。バッハ会長は、IOCそして会長ご自身が、このオリンピック休戦の理念をどれだけ大切に思っているかを、私や安倍総理に何度も語ってくれました。大阪でのG20にも、バッハ会長は出席され、そのお気持ちをG20首脳の皆さんに語っておられました。我々の願いは一つです。そして、今日はこの一つになった我々の願いを、この国連総会の場でより大きな輪として世界に届けたいのであります。

### 【オリンピック休戦理念の実践/スポーツ・フォー・トゥモロー/ホストタウン】

オリンピックの原点は平和です。約2800年もの昔に、古代ギリシャの偉大な先人たちは、オリンピックを通じ紛争をスポーツに置き換えることを考え、それがオリンピック休戦の理念につながっています。現代に生きる我々の務めは、古代からの理念を受け継ぎ、広めていくことでもあります。

私は1964年の東京大会の時は27歳でありました。当時、平和であるからこそ世界各国が集うオリンピック・パラリンピックが開催できると、平和の尊さをしみじみと感じたものです。1964年の東京オリンピック・パラリンピックは、戦争で焼け野原となった日本が終戦からわずか19年で立ち上がった象徴となって、その後の経済成長へと繋がり、更に、世界へ貢献する日本国民の力となりました。2020年の二度目の東京オリンピック・パラリンピックは、平和の中で成熟した日本を見て頂くと共に、2011年の東日本大震災に際して世界中から頂いたご支援に感謝しつつ、復興を遂げつつある東北の姿を世界に発信し、更には日本のみならず世界で発生している自然災害で苦しんでいる被災者を励ます願いが込められています。励まし、励まされる連帯が、立ち上がる力になるはずです。



また、我々は、日本がオリンピック・パラリンピックを通じて平和の素晴らしさを実感したように、世界の人々にもスポーツを通じて平和の素晴らしさを感じて欲しいと思っています。そのため、日本は、2020年に向けて100か国以上、1,000万人以上を対象にスポーツを通じた国際交流や人材育成を行う国際貢献策「スポーツ・フォー・トゥモロー」を実施し、ちょうど、1,000万人という目標を達成したところです。この活動には多くの日本の若者が参加しております。

更に、平和は人と人との相互理解と信頼が支えているとの思いから、東京2020大会では、世界初の取組である「ホストタウン・イニシアティブ」により、参加国・地域の選手と日本の自治体の住民の心あたたまる草の根型の交流が行われています。東京2020大会は、世界の選手を日本全国の自治体が応援する、心通い合う大会となるでしょう。

#### 【共生・持続可能な世界への取組・SDGs】

東京2020大会の主たるテーマは「共生」であります。平和は世界の人々の「共生」により成り立ちます。東京2020大会は、史上初めてオリンピックとパラリンピックを一体化した組織委員会を持つことを通じて「共生」を実践し、その素晴らしさを世界に示したいと思っています。そして、東京は夏季パラリンピック大会を二回開催する初めての都市となります。

私たちが住む地球との「共生」という観点から、国連の持続可能な開発目標、SDGsにも力を入れています。東京2020大会では、SDGs達成に貢献すべく、入賞者の金メダル、銀メダル、銅メダル、の全てが、家庭で不要となった小型家電や携帯電話などから回収した金属で製造されています。また来年3月26日から始まる聖火リレーのトーチ素材の一部には、東日本大震災の仮設住宅のアルミ廃材を再利用しております。更に、大会の表彰台は海洋プラスチックを含む使用済みプラスチックの再生利用を基本として製作する予定です。このように、先駆的な取組を通じて、私たちは、東京2020大会が、SDGsをはじめとする、持続可能な世界の実現の最前線を照らす光となることを願っております。

#### 【ラグビーワールドカップ・平和への祈り・結語】

本年秋、11月、ラグビー先進国以外で初めて開催された、日本でのラグビーワールドカップは、ビル・ボーモント・ワールドラグビー協会会長が、「過去最高のワールドカップだ」と評するほどの大成功を収めました。テレビの瞬間最高視聴率は53.7%を記録し、



入場者は170万人、日本全国16か所に設置されたファンゾーンへの入場者は113万人と史上最多を更新し、全国61自治体55キャンプ地を通じた人的交流は、世界平和にとっても、来年の東京2020大会にとっても、大きな財産となりました。日本中、どこの会場でも、超満員の観衆が集まりました。誰もが日本にこれだけのラグビーファンがいたのだろうかという疑問を持つほど、大勢の人達が集まってくれました。これは、先程述べましたように、地方都市と選手たちとのコミュニケーションが、実に見事な合成をしたものだと思います。このラグビーワールドカップの成功経験を、東京2020大会にも生かしていくつもりであります。

スポーツの素晴らしさは、不可能が可能になる喜び、そして困難に挑戦することの尊さ、だと思えます。私は今年で82歳になり、国連総会で演説するのはこれが最後になると思えます。政治家としての私の人生は、このスポーツから得た学びに支えられていました。不可能が可能となるように、いつかオリンピック期間だけでなく、世界全体から永遠に戦争が消えて欲しいという願いも可能になるかも知れません。また、困難ではあっても、指導者同士が腹を割って話し合う勇気を持てば、戦わずとも解決策は見つかるかも知れません。現下の国際情勢は更に厳しさを増していますが、大国同士の対立の犠牲となるのは常に小国であり、私は弱い立場の人々が苦しむのを看過することはできません。だからこそ、ここで改めて世界の平和と繁栄を祈り、東京2020大会のビジョンである「スポーツには世界と未来を変える力がある」、このことを信じたいと思えます。

本日、日本が提出している決議案には、180か国を超える共同提案国を得たと伺っております。この機会を与えてくれました国連総会に感謝するとともに、本決議案採択への各国のご支持をお願い申し上げて、私の発言を終わります。ありがとうございました。

(了)